

あすなる

＝発行＝
宮古島市立
平良中学校
進路担当：川満洋平

誰かの名言

◆真剣になればなるほど、喜びと楽しみが生まれる。

未来講話を実施 自分のキャリアについて考えた



講話は全学年を対象に体育館にて行われた。

11月14日の6校時に、キャリア教育を目的とした講話が行われました。講師の来間清人さんは、平良中学校を卒業後、宮古高校へ進学し、琉球大学農学部で畜産学を学んだ後、ハワイやアメリカのオハイオやシカゴで研究を続けて、現在は沖縄科学技術大学院大学（通称：OIST）で研究者をしています。今回の講話は、研究のお話ではなく、来間先生が自分の進む道を決める際に起こった出来事や、その時に「大事なだな」と思ったことを中心に話していただきました。

来間先生のお話（抜粋）
人生は岐路の連続。その岐路に立つときに進路を決めるのはとても難しいけど、次の3つを大切にしていこう。①これだ！という道を見つけぬ。②道を決めるときは一度ではない。③自分が好きなことを大切にしよう。また、人との繋がりを大切にすると人生が変わる。たくさんの人に会いながら新しい進路を見つけよう。最後に、英語は人生を変えます。

講話の感想（抜粋）
1年▼進路を決めるときは一度ではないのでたくさん考えたい。小さな興味や特技から進路を決めたい。大切にしていくのも大事だと分かった。
2年▼博士になるなんて小学校からずっと勉強していたのかなと思っただけ、来間さんも野球選手が夢で進学していく度が変わっていったことを聞いて、あせって将来の夢についてめなくていいんだなと思えました。自分のやりたいことに向かって、失敗を怖がらず頑

張ろうと思えました。3年▼「進路を決めるのは一度ではない」という言葉が印象に残っています。中3の今、いろんなことを決断しないといけないので、そのたびに大丈夫かな、ここでもいいのかなと不安になります。特に高校を決めるのに苦戦しています。でも今日の講話で少し気持ちが軽くなりました。
3年▼来間さんのように今を諦めずポジティブに物事を捉えることが新しい選択が生まれることが分かりました。私も夢や目標を諦めず世界に挑戦できるように頑張りたい。

3年▼来間先生が人との繋がりを大切にしてきたから、今の来間先生があるんだなと気づきました。これからは、小さな興味きっかけを大切に育て「自分って何をしたいんだろう？」、「どんな人なんだろう？」と自分のことについて考えて、よりよい人生を自分でつくっていくたいと思います。
3年▼「一つの選択で未来は決められない」という言葉を聞いて、将来に対する不安や心配が少し軽くなったように感じました。来間さんみたいに楽しく生きてきたいなと思えました。

※特色選抜では学校独自の試験が行われます。その内容は学校によって違います。また開示される情報には配点や、実績のランクもあります。

お知らせ

3年生保護者へ、県立高校Web出願システムのアカウント登録が始まっています。ご不明な点があれば担任へご相談ください。

びっくりする脳の話

人間の脳は、本当に良くできています。困っている人を助けた時、教室のゴミを拾った時、他人に親切にした時、つまり、他の人のためになることをした時には、エンドルフィンというホルモンが脳の中に流れます。
このホルモンが流れると、体の調子がとっても良くなります。前向きになります。
反対に、親や先生が気づかないからといって、友達をいじめたり、物を盗んだり、嫌な言葉を言ったり、嘘をついたりすると、ノルアドレナリンというホルモンが流れます。
このホルモンは人間にとって害になるホルモンです。人間の体をダメにしてしまうホルモンです。「むかつく」などといって友達をいじめたり、誰も見ていないからといって物を盗んだりすると、このホルモンがどっと流れるのです。そして、君の体をダメにしてしまうのです。
※教育雑誌「教材開発」より